

道路舗装修繕の取組みについて



次第

1. 修繕必要箇所を発見方法

1－1. パトロールによる発見

1－2. 藤沢市職員による発見

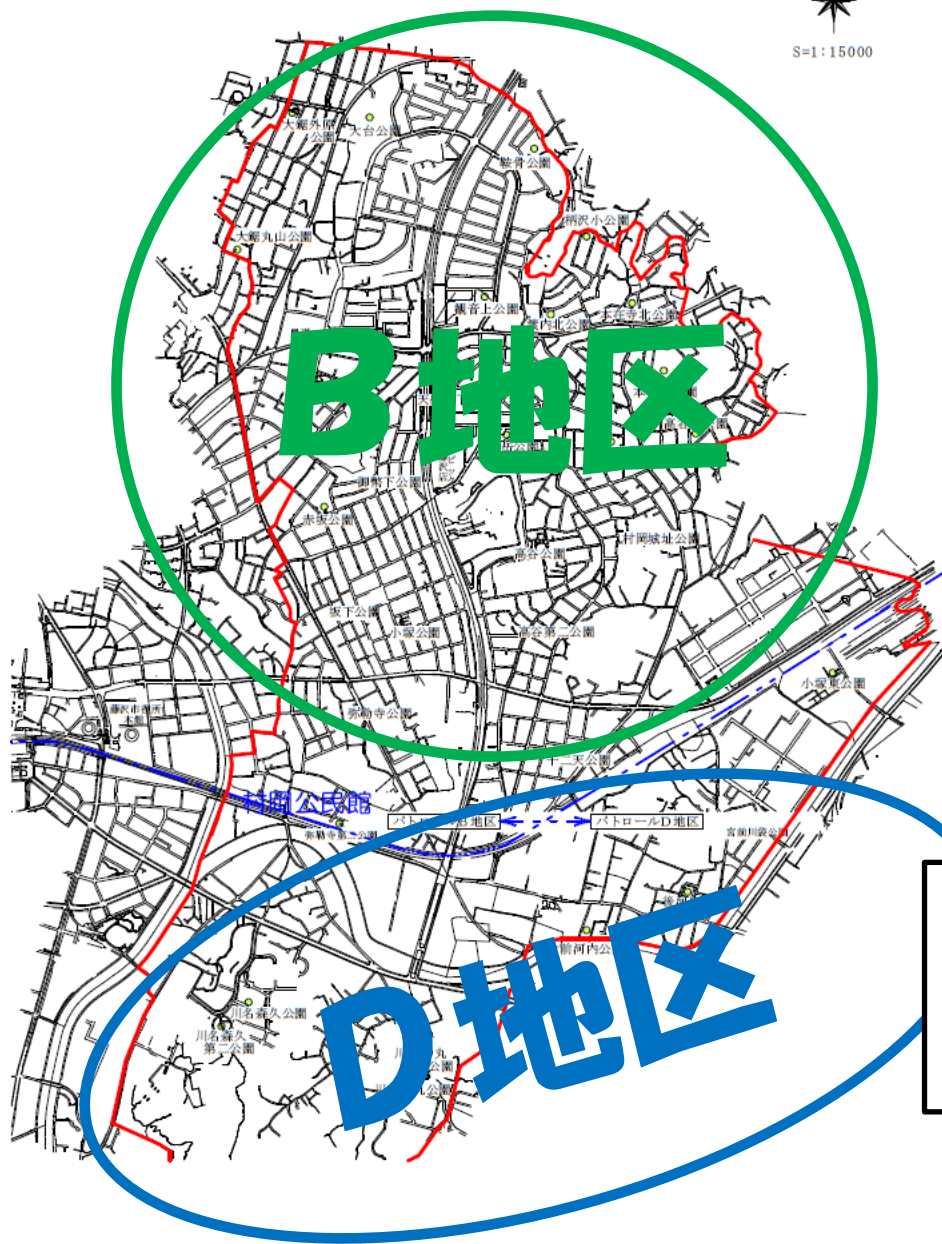
1－3. 皆様からの通報

2. 現在進めている修繕について

3. 道路施設の点検

4. 今後の計画的な修繕について





1. 修繕必要箇所の見つけ方

1-1. パトロールによる発見

藤沢市管理道路の総延長は

約1,300km

となっており長大であることから

藤沢市内を南北2分割し

北部方面は北部補修担当で

南部方面は土木維持課で担当しています

藤沢市南部をA～D地区に4分割

村岡地区はJR東海道線を境に

B地区の一部

D地区の一部の2地区です

村岡地区は要望処理と並行して

平均6回/月のペースで

パトロールを実施しています





1. 修繕必要箇所の発見方法

1-2. 藤沢市職員による発見

2015年1月15日より

藤沢市全職員により

「出退勤時」

「その他現場に出た際」

などに発見した公共施設の異常について速やかに担当課に連絡を行うため

「藤沢スマートチェック」

制度を運用しております。
舗装の劣化だけでなく道路反射鏡の方向直しなどの連絡をいただいています。



1. 修繕必要箇所の発見方法

1－3. 皆様からの通報

藤沢市道は藤沢市域を網の目のようにほぼ全域を網羅し、パトロールだけで全線をカバーすることは非常に難しい状態です。

皆様からいただく破損や汚損の通報は大変貴重な情報となりますので、お気づきの点などがございましたらお電話で結構ですので遠慮なく連絡をいただきますようお願いいたします。



連絡先

藤沢市役所土木維持課
0466-25-1111



2. 現在進めている修繕について

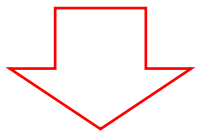
舗装劣化の状況を踏まえた修繕の対処方法を3段階に分けています。

第1段階：舗装の穴埋め等の簡易的な補修
に対応する年間業務委託

第2段階：小規模な損傷に対応する小規模
修繕

第3段階：大規模な損傷に対応する修繕
工事

生活道路を中心とした
一般市道で対応

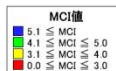


約1,300kmある管理道路の内、主要な道路（バス通りなど）
約135km

については、修繕計画を策定し、計画的な修繕を進めています。

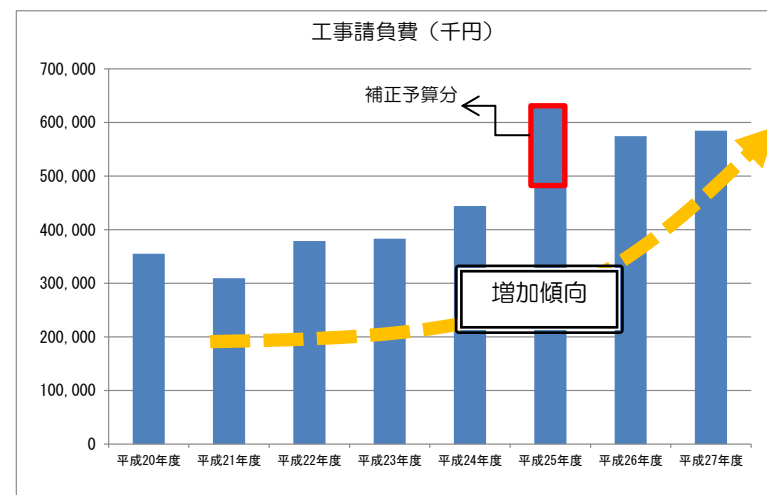
藤沢市 路面性状評価図

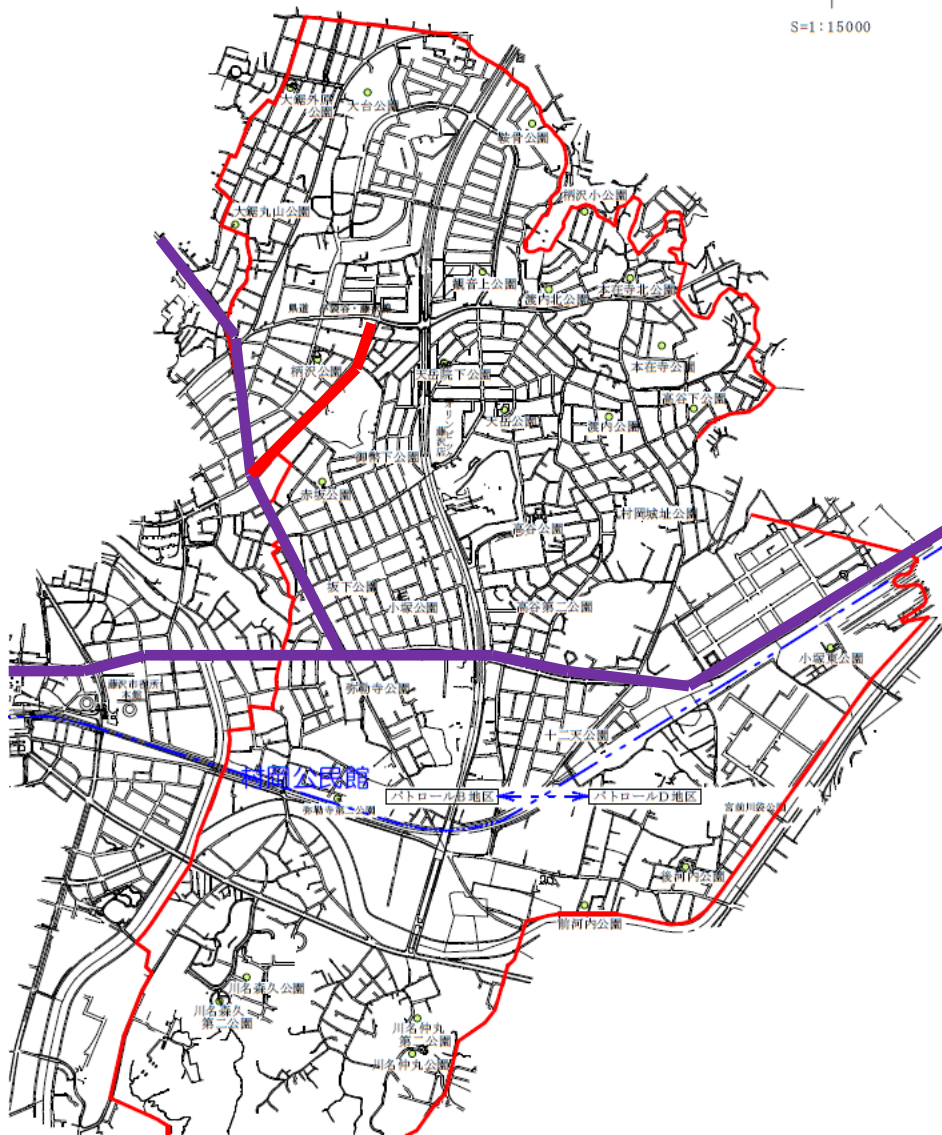
平成26年10月作成



2. 現在進めている修繕について

修繕計画の策定に際しては、計画的かつ効率的な舗装修繕を実施していくことで、道路利用者の安全・安心を確保することに努めます。なお、道路施設の老朽化の進行により、修繕に要する経費が増加傾向となっています。





2. 現在進めている修繕について

村岡地区について、バス通りなど幅員の広い道路について、修繕計画に基づき、計画的に大規模な舗装の修繕工事を進めています。

村岡地区については

- 村岡西富線（村岡歩道橋以北）
H27～H30
- 藤沢村岡線（藤沢駅以東）
H27～H30
- 柄沢線など
H29～

修繕計画対象外ですが

藤が岡のプラウドイースト前

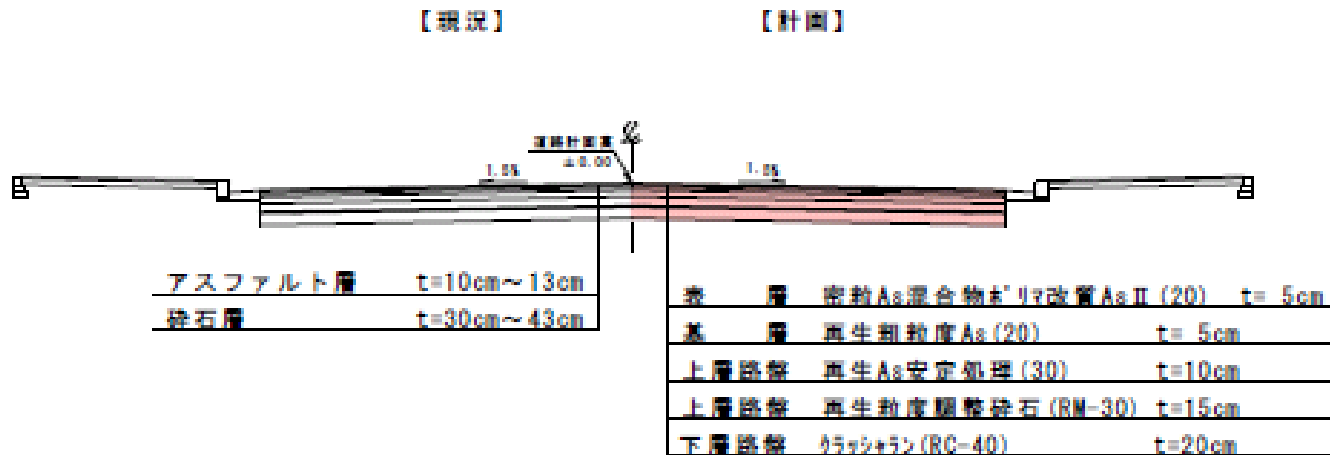
～県道小袋谷線

村岡86号線の大規模な舗装の修繕工事をH29まで継続しています。

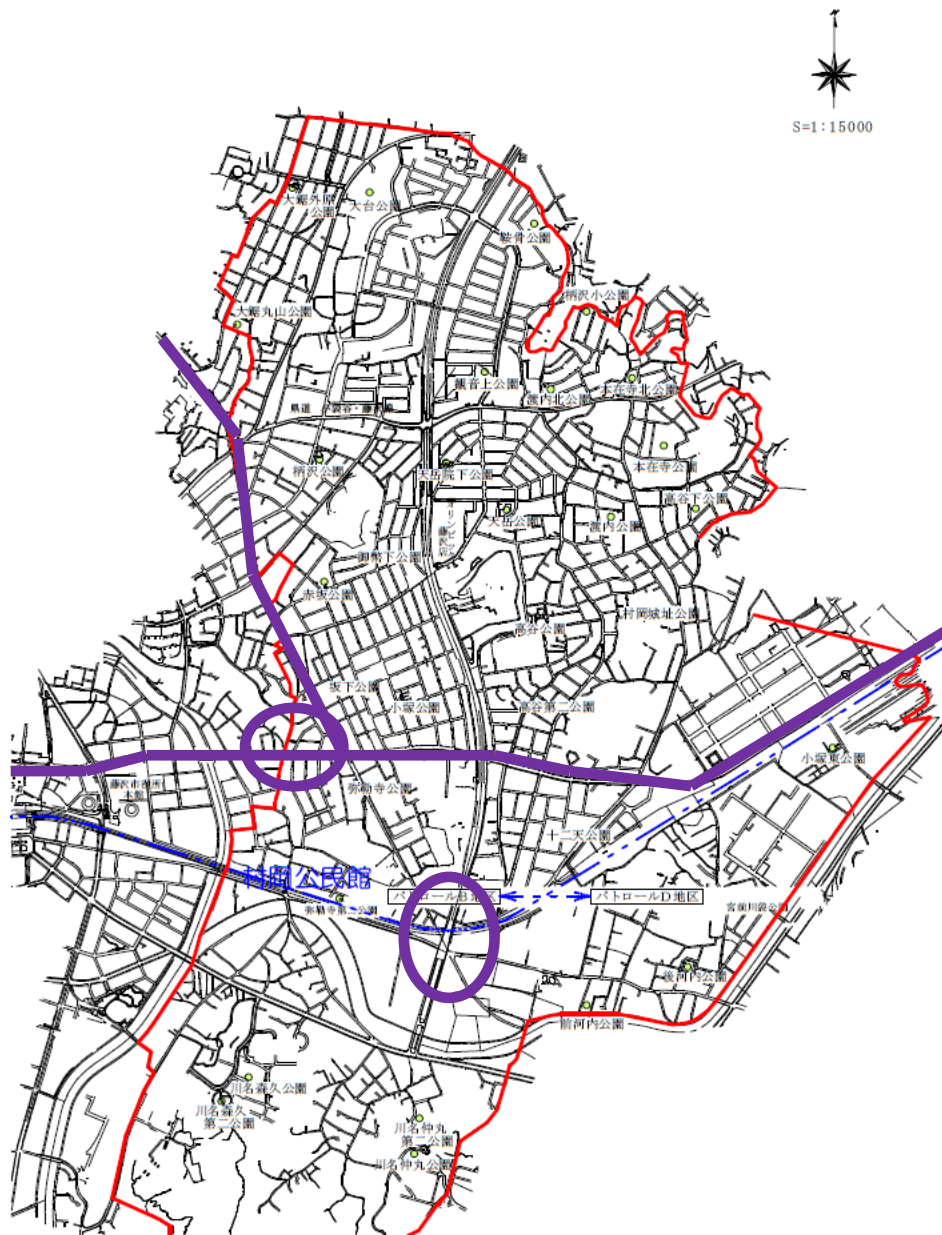


2. 現在進めている修繕について

標準断面図 S=1 : 100



計画的に大規模な修繕工事を実施する路線については、道路の利用状況を事前に調査し、必要に応じて舗装表面だけでなく、全体的なやり直しを実施しております。



3. 道路施設の点検

藤沢市舗装修繕計画に基づき、道路施設の点検を進めています。

藤沢市内全域で

○路面性状調査

○FWD調査

などを進めています。

道路舗装修繕計画とは別に村岡地区については次の道路施設の点検も行っています。

○路面下空洞調査

藤沢村岡線（藤沢駅～武田薬品）

村岡西富線（村岡歩道橋以北）

○地下道点検

小塚地下道他

○村岡トンネル点検

現在現地調査が完了し、得られた情報の分析を進めています。

具体例：道路の現状調査

撮影カメラ
(静止画連続撮影)
(カメラ向きハンドル連動)

車載GPS



加速度計
(鉛直方向の振動を測定)



路面高さ計測器 (赤外線レーザー)

路面性状調査

路面画像撮影車にて路面の損傷状況を記録していきます。
穴空きやひび割れなどの記録を取得するものです。

具体例：道路の現状調査



FWD調査

道路の強さを測定するものです。

取得したデータと現在の道路の使われ方を比較し、どのような補修をすれば良いか検討するための調査です。

問題なし→今までと同じ舗装構成 問題あり→舗装構成の変更

具体例：道路の現状調査



路面下空洞調査

アスファルト舗装下の空洞の有無について調査します。

道路陥没等により生じる事故を未然に防ぐために行います。



危険な空洞が確認された際は速やかに補修修繕を実施いたします。

緊急性の低い空洞については計画的に修繕を進めます。

4. 今後の計画的な画的な修繕について

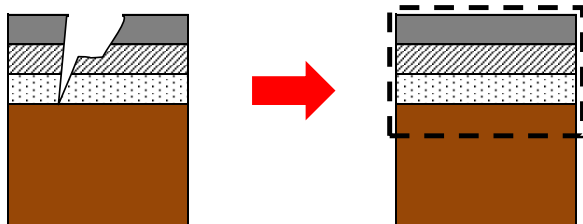
現在

事後保全型

路盤層まで劣化が進行(舗装の限界まで使用)してしまっため、路床から修繕を行います。

表層(アスファルト)
基層(アスファルト)
路盤層(碎石)

路床(土砂)

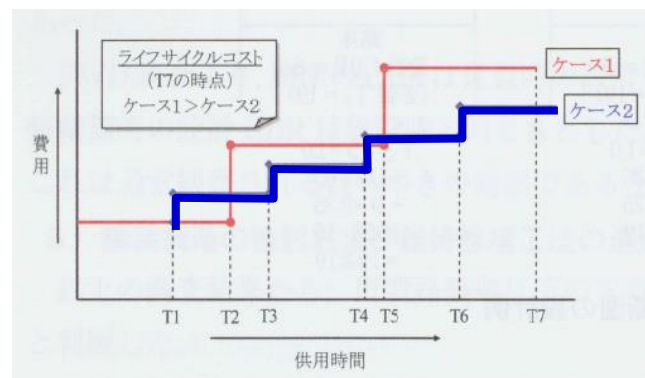
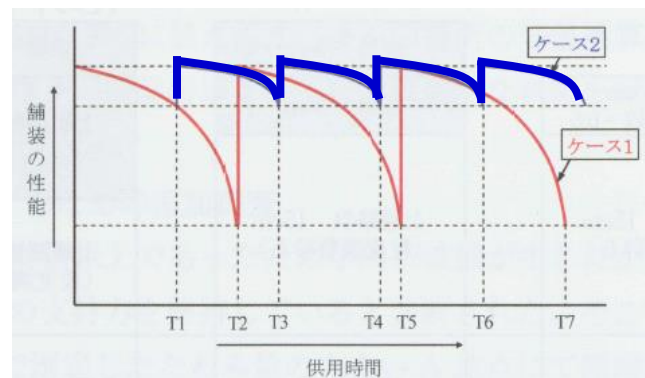
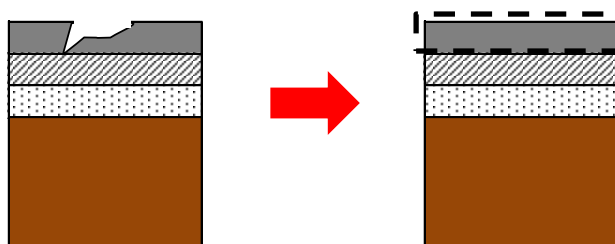


予防保全型

表層が劣化した時点で修繕(悪くなる前に修繕)を行います。

表層(アスファルト)
基層(アスファルト)
路盤層(碎石)

路床(土砂)



将来的には舗装の劣化が比較的小さな時点で小規模な修繕を行う予防保全型の維持管理を実施して、舗装を延命化させ、ライフサイクルコストの低減を図り、かつ毎年の維持管理費の平準化を目指していきます。

ご清聴ありがとうございました

藤沢市道路舗装修繕計画



2015年（平成27年） 3月

藤沢市 土木部 土木維持課

藤沢市土木維持課ホームページに

藤沢市道路舗装修繕計画

が掲載されていますので
あわせてご確認をお願いします。

